

はしき議会だより

令和3年

8月1日発行

2021 AUGUST

No. 175

主な内容

- 第2回(5月)臨時会概要、議会構成、審議結果・賛否一覧…………… 2P
- 第3回(6月)定例会概要、質疑、人事案件、請願の審査…………… 3P
- 一般質問 16議員が市の諸問題を問う…………… 4～9P
- 6月定例会審議結果・賛否一覧、意見交換会、表彰…………… 10P

新庁舎の開庁を前に、9月議会が最後となる現庁舎の議場。約60年にわたり議論が交わされた議場が幕を閉じる。

第 2 回（5 月）臨 時 会

羽島市議会構成

議長
糟谷 玲子

副議長
野口 佳宏

監査委員
南谷 佳寛

（順不同）
◎ 委員長
○ 副委員長

◇ 総務委員会（6人）
◎ 後藤 國弘 ○ 安井 智子
栗津 明 野口 佳宏
藤川 貴雄 花村 隆

◇ 民生文教委員会（6人）
◎ 原 一 郎 ○ 毛利 廣次
南谷 清司 南谷 佳寛
豊島 保夫 近藤 伸二

◇ 産業建設委員会（6人）
◎ 川柳 雅裕 ○ 柴田 喜朗
堀 隆和 山田 紘治
糟谷 玲子 星野 明

◇ 議会運営委員会（6人）
◎ 安井 智子 ○ 南谷 清司
毛利 廣次 原 一 郎
豊島 保夫 山田 紘治

◇ ごみ処理施設建設
特別委員会（18人）
◎ 糟谷 玲子 ○ 野口 佳宏

◇ 議会改革特別委員会（6人）
◎ 藤川 貴雄 ○ 原 一 郎
柴田 喜朗 後藤 國弘
川柳 雅裕 花村 隆

◇ 新庁舎建設特別委員会（18人）
◎ 糟谷 玲子 ○ 野口 佳宏

◇ 予算決算特別委員会（18人）
◎ 豊島 保夫 ○ 藤川 貴雄

◇ 広報広聴委員会（6人）
◎ 南谷 清司 ○ 毛利 廣次
後藤 國弘 川柳 雅裕
堀 隆和 近藤 伸二

第2回市議会臨時会は5月14日招集され、1日間の会期で開催されました。

今臨時会には、専決処分の報告など13件が提出され、原案のとおり承認、同意及び可決しました。

また、正副議長の改選が行われ、議長に糟谷玲子氏、副議長に野口佳宏氏が選ばれました。

さらに、常任委員会等の各委員の選任を行い、議会構成を改めました。

第2回（5月）臨時会 議案の審議結果

◎…全会一致で可決 ○…賛成多数で可決 ×…賛成少数で否決

議案番号	件 名	審議結果
報第 1 号	専決処分の報告について（専第9号 損害賠償の額を定めることについて）	—
承第 5 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第5号 羽島市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について）	◎
承第 6 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第6号 羽島市税条例等の一部を改正する条例について）	○
承第 7 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第7号 令和2年度羽島市一般会計補正予算（第19号））	◎
承第 8 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第8号 令和3年度羽島市一般会計補正予算（第1号））	◎
承第 9 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第10号 令和3年度羽島市一般会計補正予算（第2号））	◎
承第 10 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第11号 令和3年度羽島市一般会計補正予算（第3号））	◎
議第 42 号	羽島市固定資産評価員の選任について	◎
議第 43 号	羽島市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	◎
議第 44 号	羽島市介護保険条例の一部を改正する条例について	◎
議第 45 号	令和3年度羽島市介護保険特別会計補正予算（第1号）	◎
議第 46 号	令和3年度羽島市一般会計補正予算（第4号）	◎
議第 47 号	羽島市監査委員の選任について	◎
	閉会中の継続審査について	◎

議案の賛否一覧

※賛否が分かれたもののみ掲載しています。

審議結果：◎…可決 ×…否決 賛否状況：○…賛成 ●…反対 議…議長のため採決に加わらない 欠…欠席 棄…棄権 除…除斥		審議結果	南谷 清司	柴田 喜朗	栗津 明	毛利 廣次	後藤 國弘	原 一 郎	川柳 雅裕	安井 智子	野口 佳宏	南谷 佳寛	豊島 保夫	堀 隆和	藤川 貴雄	山田 紘治	花村 隆	糟谷 玲子	星野 明	近藤 伸二
議案番号	件 名																			
承第 6 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第6号 羽島市税条例等の一部を改正する条例について）	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○

第3回(6月)定例会

6月定例会で次のことが決まりました。

第3回市議会定例会は6月3日招集され、6月29日までの27日間の会期で開催されました。

今定例会には、条例の制定や一部改正、令和3年度補正予算など14件が提出され、本会議、委員会、慎重に審議の結果、原案のとおり承認、同意及び可決しました。

今定例会で決まったこと、議案に対する審議の状況は次のとおりです。

令和3年度一般会計補正予算

市内全域の高所における火災などの対応に当たります。

羽島郡の2町からなる羽島郡広域連合と屈折はしご付消防自動車運用委託に係る消防応援協定を締結し、羽島郡広域連合が所有するはしご車を共同利用することで、はしご車を必要とする災害全般に対応します。

問 締結する協定の内容は。

答 羽島郡広域連合と羽島市との

間におけるはしご車の応援体制を確立し、市内における災害等に対処することを目的としている。

協定の有効期間は



消防応援協定を締結

令和3年8月から令和10年3月までの約7年間を予定している。

問 負担金の積算根拠は。

答 出動に係る人件費と保守管理費から算出しており、市の1年当たりの負担は約435万円となる。令和3年度は8月1日から8カ月間の運用となるため、12分の8を掛けた約290万円の負担となる。

質疑

条例の制定

問 羽島市立学校体育施設の開放に関する条例について、教育委員

会規則で定める内容は。

答 使用可能日時を平日午後6時から午後9時30分まで、土日祝日午前8時から午後9時30分までとするほか、使用団体の登録手続き及び使用許可、使用料の徴収方法と使用料の減免に関することを想定している。

令和3年度補正予算

問 南宿駅における乗降客の送迎車両の転回場とするため購入するJAぎふ足近支店跡地の形状は。

答 幅6メートルの出入り口を設置し、用地奥において送迎車両が転回、待機できるようにL字型の形状となっている。

人事案件

羽島市公平委員会委員に

松永 清茂さん(小熊町)

委員の任期満了に伴い、松永さんを再び選任したい旨の議案が提出され、これに同意しました。

請願の審査

【不採択とされたもの】

・日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出に関する請願書

市議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、9月2日(木) 午前10時開会の予定です。

※新型コロナウイルス感染症の発生状況により傍聴を制限する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

聴覚に障がいのある方も手話通訳を介して、議会を傍聴していただけます。

手話通訳者の派遣をご希望の方は、傍聴希望日の7日前までに議会事務局にお申し込みください。なお詳細につきましては、市議会ホームページをご覧ください。



マチイロ

はしま議会だよりをアプリで配信します。

App Store・Google playから「マチイロ」を検索し、ダウンロード



羽島市議会 公式Facebookページを開設しました。
<https://www.facebook.com/hasimasigikai/>



令和3年
6月定例会

16議員が市の諸問題を問う！

一般質問

1 野口 佳宏 議員 4 ページ	9 粟津 明 議員 7 ページ
2 近藤 伸二 議員 5 ページ	10 南谷 清司 議員 7 ページ
3 豊島 保夫 議員 5 ページ	11 安井 智子 議員 8 ページ
4 柴田 喜朗 議員 5 ページ	12 後藤 國弘 議員 8 ページ
5 原 一郎 議員 6 ページ	13 南谷 佳寛 議員 8 ページ
6 堀 隆和 議員 6 ページ	14 山田 紘治 議員 9 ページ
7 花村 隆 議員 6 ページ	15 藤川 貴雄 議員 9 ページ
8 星野 明 議員 7 ページ	16 川柳 雅裕 議員 9 ページ

※一般質問については議員の責任において掲載しております。
内容等に関するご意見は、直接議員へお尋ねください。

市議会の会議録を検索・閲覧できます。

羽島市議会
会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/hashima/pg/index.html>



インターネットで本会議の録画中継を実施しています。

羽島市議会
議 会 中 継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant>

[/hashima/WebView/rd/council.html](https://hashima/WebView/rd/council.html)



新型コロナウイルスワクチン接種について



のぐち よしひろ
野口 佳宏
自民清和会

問 65歳以上のワクチン接種の状況は。

答 6月28日以降の65歳以上の接種については、接種を希望される方の意向を確認したうえで、年齢順に接種日を指定する市独自の方法としたところであり、7月末までに接種を完了するよう計画している。

問 個別接種、一般接種、市独自の優先接種はどのような計画か。

答 6月21日からは、基礎疾患を有する方で、希望する方への個別接種を実施する予定としている。対象は、通院が困難で在宅医療を受けている方や、かかりつけ医での接種を希望する方である。64歳以下の一般接種については、8月1日以降を予定している。基礎疾患を有する方については、優先して個別接種を行っていたきたいと考えている。優先接種については、国が指定している社会福祉施設等の従事者、県が基準を定めた教職員、保育士、幼稚園教諭、放課後児童教室の従事者など子どもたちに日々接する方、消防団員、水防団員、公共交通を支えるコミュニティバス・タクシーの運転手及びごみ・尿の収集運搬・処理に従事する方を対象として行っていきたい。



こんどう しんじ

近藤 伸二

自民クラブ

職員の退職について

問 職員の育成管理については適正配置、柔軟な組織の見直し、計画的な人材育成、ワークライフバランスの推進などが進められているが、令和元年度末までの採用者数と中途退職者数は、

答 新規採用者数は平成29年度12人、30年度9人、令和元年度14人となっている。自己都合退職者数は、平成29年度2人、30年度4人、令和元年度9人となっている。

問 令和2年度の職員採用者数と中途退職者数、年齢構成、消防署を含む数については。

答 一般行政職については、採用者数8人、自己都合退職者11人で、退職者のうち20代・30代は9人となっている。消防職員については、採用者0人、自己都合退職者数5人で、退職者のうち20代・30代は4人となっている。

問 途中退職は一般行政職、消防職などで増加の傾向にある。主事、主任クラスなどが11人、消防署では5人の退職者が発生している。若い皆さんが途中で離職されるのは大変残念なことだが、中途退職者の減少に向けての取り組みは。

答 職員の自己都合退職の理由は「一身上の都合によるもの」であり、それを減らすために市が特段何らかの措置を講ずる術はないものと考えている。



とよしま やすお

豊島 保夫

元気・羽島クラブ

羽島市と岐阜大学の共同研究における研究成果について

問 今回の研究成果は大変参考になり、私も得るものが多々あったが、大切なのはこれからの方向性であり、課題があるから改革をするのである。地域振興公社の方向性、あり方、今後の進め方についての考えは。

答 公社内に「公社のあり方研究会」を設け、職員全体で、現状や課題、方向性等を話し合っていただいており、組織としてより一層体力強化を図られるように取り組んでいただいている。

上水道事業について

問 新水道ビジョンから、水道事業の現状と課題は。

答 令和元年度決算では給水収益が約6億8千万円、令和2年度決算では約7億円と見込んでいる。課題としては、水道施設の耐震化や老朽化等があり、その対策として、既に耐震化計画に基づき、各水源地の配水池更新及び基幹管路耐震化を実施している。

問 今後の財政計画、経営計画については。

答 料金改定を平成31年4月に行い、総収益で年間約1億円の増額を見込み、令和8年度には資金残額約4億円の確保を目指す計画である。



しばた よしろう

柴田 喜朗

市政自民クラブ

偏見や社会的認知について

問 障がいのある方への偏見や差別をなくしていくための方策と今後の展望は。

答 障がいに対する理解の促進が必要であると認識している。市では市民への「障害者差別解消法」の周知のため、ポスター掲示やパンフレットの配布、ホームページへの掲載などを行うとともに、庁内職員や民生委員向けに、障がい者差別の防止や合理的配慮について理解を求めるための研修を行ってきた。今後も引き続き「障害者差別解消法」の周知を図り、障がい者への差別や偏見をなくすため、あらゆる機会を通じて啓発に努め、理解促進を図っていく。

問 LGBT支援としての同性パートナーシップ制度導入については。

答 同性のパートナーシップ制度によるLGBTの方々への支援は意義あることと認識している。一方でパートナーシップ制度には法的拘束力がないことに加え、知識が普及しないと課題解決が進まないという意見があり、飛騨市で導入が見送られている事例がある。様々な分野における不当な差別や偏見の解消には取り組むが、性別及び性に起因する差別や偏見の解消や当該制度の導入は、国や県が主体的に取り組む事が最も有効であると考えている。



はら いちろう

原 一郎

公明党

狭あい道路の解消について

問 道幅の狭い道路は、災害時に消防車が通れなかったり、塀の倒壊など防災面の課題が指摘されている。災害に強く安全で住みやすい街づくりのため、計画的に狭あい道路解消の施策を検討してみてはと考えるが、市の考えは。

答 道路後退の必要性を多くの方に意識していただくよう建築基準法等の周知や、建物、工作物等の建築や改修を行う際には、建築士や市役所窓口にご相談いただけるようホームページ等を通じてお願いするとともに、県における違反建築の指導やパトロールなどの啓発活動も引き続き協力して行う。狭あい道路整備促進事業などの支援策の活用についても、他市町の先進事例を参考に事業の効果や課題を慎重に検証し、災害に強く安全で住みやすい街づくりの研究を進めたいと考えている。

これから農業について

問 新しい地域農業の発展のため、スマート農業の研修や人材育成などを計画的に進めては。

答 今後もスマート農業の導入を広く推進していくため、令和3年度は県普及課と連携し、スマート農業を実際に体験し学べる「スマート農業サポート研修」の開催を計画している。



ほり たかかず

堀 隆和

正統派クラブ

羽島市公共施設等総合管理計画について

問 市の人口一人当たりの公共建築物の平成30年度末における延床面積は、県内42市町村中41位である中での削減計画である。老人福祉センターには、「長寿命化計画」も策定されているが、風呂のボイラーが修理されず、1年間放置されたままである。今後の施設のニーズからしても今のままの放置はあつてはならないと思うが。

答 具体的な施設のあり方については、公共施設等検討委員会等で検討していく。

まだまだ利用者が多い
老人福祉センター

問 「総延床面積を令和36年度末までに23%削減する」目標は高すぎる。目標値を下げる考えは。

答 今後、財政的に厳しい状況が続くと予想されることから、削減目標は引き続き23%としている。

岐阜連携都市圏への加入について

問 岐阜連携都市圏に参加の打診があった時点ではなく、この時期になって、急きょ加入の申し入れとなった理由は。

答 具体的に対応していくべき課題が明瞭になってきたことによる。



はなむら たかし

花村 隆

日本共産党
羽島市議団

職員給与について

問 財政の安定化対策として令和2年度から3年間の計画で市職員の給与カットが実施されている。平成31年4月1日採用と令和2年4月1日採用の合格者数と採用者数は。令和2年度までの自己都合退職者数は何人か。

答 一般行政職の平成31年採用は合格者17人に対して採用者数12人、令和2年採用は合格者15人に対し採用者数は8人であった。一般行政職の自己都合退職者数は、平成30年度4人、令和元年度9人、2年度11人である。

問 市の令和2年度ラスパレス指数90・1は、全国792市中タ張市のワースト1位に次ぐワースト2位、岐阜県下42市町村中最下位であり、中途退職者が多数出るなど問題がある。市の地域経済にも影響を及ぼす給与削減は今すぐ撤回を。

答 職員の給与減額支給については市と市民病院職員労働組合等との協議による合意を経て実施しているもので、市が一方向的に撤回するべきものではない。令和2年3月議会に職員給与の改正案を提出し、議決を経て実施に至った。実施に当たっては毎年見直しを行うこととしており、令和3年度は給与月額率の減額率を0・3%緩和している。



ほしの あきら

星野 明

明栄神

新型コロナウイルス感染症について

問 民間医療、診療時間外に対する市独自の協力量金についての考えは。

答 6月21日より開始される個別接種を実施する医師会所属の医療機関において、適切なワクチン接種体制を確保していただくための市協力量金を医師会に対して交付する。

問 歯科医師等への協力量金についての考えは。

答 医師会のご協力を得て、現時点では接種をされる医師の不足をきたしていない。

問 副反応は、今まであったか。万一発生した場合。

答 現在のところ、集団接種を行っている会場において、重篤な副反応はない。重篤な副反応が発生した場合は、接種会場に設けた救護室で医師が応急処置を行い、必要であればすみやかに病院へ救急搬送ができるよう、医師会や消防本部とも連携を図っている。

消防行政について

問 現行の勤務人員で業務の遂行は。

答 消防署本署については、隔日勤務者12人、北・南分署は各4人。現行の勤務人員で業務の遂行に支障は生じていない。



あわづ あきら

粟津 明

自民クラブ

災害時・緊急時の備えの費用対効果の考え方について

問 はしご車購入を令和2年度に予算化したが運用実績がないとのこと。費用対効果を考えることは逆になかった。はしご車等を使用しなかったことは逆に喜ぶことであるが、どう考えているのか。

答 長年にわたりほとんど運用実態がないものの、不測の事態に備えるという観点から、今回予防措置として、屈折はしご付き消防自動車の運用委託に係る消防応援協定を締結し、協定に基づく負担金を支払う。

財政安定化対策について

問 財政安定化対策中であるが市長は20日の違いで約130万円・副市長は約3カ月で約135万の退職金が増加しているが、退職金算定方法と特別職報酬審議会への諮問方法は。

答 退職日の給与月額により算定される。特別職報酬審議会へは、事務局案を手渡す方法と白紙委任の場合がある。

問 顧問・政策参事には最高37万5千円の報酬を支払うことができるが、執行部の人事体制は。

答 顧問・政策参事の任用は市長が自らの判断と責任において行うべき専権事項である。



みなたに きよし

南谷 清司

自民清和会

羽島市民病院について

問 コロナ感染症が収まらない中、市立の病院があること、市職員の医療関係者がいることは、とても心強い。市が大災害に襲われたときも、市立の病院の存在に大きな安心を感じるだろう。感染症医療、災害医療、救急医療などの不採算医療を担う責務の中で、羽島市民病院の課題は奥が深い。課題解決には目の前の現象にとらわれるのではなく、先を見通す確かな目を持つて戦略的な策を立て着実に実行していくことが必要。取り組みへの考えは。

答 全病院職員の行動変容に取り組んでいる。コロナ後の収支改善には医師確保が重要。令和3年度、実質的医師数を33人から39人へ増。近隣病院から救急医の人的支援も受けている。

陣痛タクシーについて

問 安心して出産に臨める環境構築を要望したところ「妊婦等タクシー料金補助事業」が始まり感謝。陣痛開始時に安心してタクシーを利用できる環境整備も必要。陣痛タクシー等の周知とタクシー会社への協力依頼をしようか。

答 陣痛タクシー等事業に対応している岐阜地区内会社は8社。保健センターで妊婦へ渡すチラシに陣痛タクシー等の情報を記載し周知する。



やすい ともこ

安井 智子

自民清和会

羽島市公共施設等総合管理計画について

問 第4次改訂版による現状と見通しは。

答 公共施設等の今後の更新費用は1年当たりの平均額で約38・1億円が必要と試算され、過去の実績と比較し、1年当たり約3・8億円が不足する状況である。

問 あり方検討を進める3施設の方性は。

答 施設・設備等の不具合など老朽化の状況や指定管理期間の状況等を踏まえ、「老人福祉センター」「いきいき元気館」の2施設については、外部有識者や市民等により組織する「公共施設等検討委員会」にて令和3年度議論を始めている。「柔剣道道場」については令和5年度末を目途に検討を進める予定である。

地域包括ケアシステムの充実について

問 特に充実すべき障がい福祉の取り組みは。

答 「基幹相談支援センター」を福祉課内に設置し、「地域生活支援拠点等」を整備している。今後は、より総合的・専門的な相談支援体制を確保していく。職員の資質向上を図り、障がい福祉サービス等の質の向上に向けた体制の構築を進めていく。



ごとう く に ひろ

後藤 國弘

自民清和会

テレワークについて

問 政府は、東京一極集中の是正を目指す「骨太の方針」の中でテレワークを通じて地方への移住や企業誘致に取り組む自治体を増やし、地方創生を強力に進めるとの方針を打ち出したが、市のテレワーク移住と企業のサテライトオフィス誘致についての考えは。

答 市では、移住促進に向け、教育環境の整備、企業誘致等による雇用の場の確保、にぎわいの創出など環境整備を進めてきた。今後も、これらに加え交通の利便性を主としたテレワーク環境の優位性なども併せて情報発信し、移住促進を図っていく。

サテライトオフィス

誘致については、現在、国において取りまとめが進む「骨太の方針」

において、地方でテレワークを活用することによる「転職なき移住」を実現するため、サテライトオフィスの整備・利用促進、立地円滑化を推進することが示されており、こうした国の施策の動向も踏まえながら、サテライトオフィスの誘致について、研究していきたいと考えている。



みなたに よしひろ

南谷 佳寛

自民清和会

防災について

問 6月開催予定の防災訓練の内容と注目される訓練は。

答 市内全域でシェイクアウト訓練を行い、中部地区及び一部地区では、安否確認訓練として「白いタオル運動」を行う。注目される訓練としては、羽島市防災コーディネーターが講師となり「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所開設訓練」を計画している。

問 指定避難所の環境整備及び運営体制は。

答 環境整備については、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所を開設する為の資機材として避難所入り口での事前受付用の非接触型検温計や簡易テント、換気対策用の大型扇風機、発熱や体調不良の方の専用スペースに設置する段ボールベット、パーティション、簡易トイレを整備する。避難所の収容人数が、従来と比べ4分の1程度となりスペースが足りなくなる事も考えられ、ドーム型テントの整備、車中泊避難も想定しグラウンドを活用したレイアウト案を作成する。運営については「市の地域派遣職員」「学校等の施設管理者」「自主防災組織」が連携しながら設置・開設準備等を行う。その後、被災者のニーズの変化等に対応するため、自主防災組織を中心とした運営を行っていただく。



やまだ こうじ

山田 紘 治

自民クラブ

現市庁舎について

問 現庁舎は、羽島市出身の坂倉準三氏が設計し、過去には日本建築学会賞を受賞するなど、歴史的・文化的価値があり、庁舎としての機能というより、歴史的建造物として、今一度考え直す必要があると考える。今や60年以上が経過した建物の価値を考える上で、羽島の文化遺産という範ちゅうの話ではなく、国の文化遺産と言つても過言ではない。我々はあまりにも身近すぎて見過ごしてきた価値のある現庁舎を今一度見直す必要がある。こんなにも素晴らしい歴史的・文化的価値のある建物を壊すようなことがあれば、将来に遺恨を残すことになる。この素晴らしい現庁舎を皆さんの手で残していくべきと考えるが、市の考えは。

答 耐震基準であるIIS値が基準を大きく下回り、耐震性能が著しく不足し、仮に耐震補強工事を行ったとしても、筋交い等により外観の変化や内部補強によりスペースの縮小は避けられず、建物として使用するためには、付帯する長寿命化工事など総合的な工事を行う必要があり、多額な工事費が発生する。これまでの新庁舎建設委員会等での調査結果等も踏まえながら、旧庁舎あり方検討委員会において議論を深めていただきたいと考える。



ふじかわ たかお

藤川 貴雄

自民清和会

コロナ禍における学校運営について

問 現状を踏まえた学校運営方針は。

答 基本的な感染防止対策を徹底するとともに各学校においては感染状況や学校医等の指導・助言を踏まえた方法で教育活動を進めている。児童生徒の学力については、令和2年度に市独自で学力テストを実施したところ、知識・理解の定着や思考力・判断力については、概ね良好な結果となった。主体的に授業や学習に向かう意欲・態度については、令和元年度と同様の状況であったが、算数・数学の問題の一部で無回答の児童生徒が少なからずいた。今後、授業における指導の改善を図るとともに一人ひとりの学習状況に着目した指導を充実していきたい。



行政のデジタル化について

問 デジタル化実現に向けた今後の進め方は。

答 事業を実施する上でデジタルとアナログの併用はしばらく避けられないが、デジタル関連の問い合わせや相談への対応については、その内容や傾向を踏まえた上で、いわゆるデジタル弱者に配慮した形で取り組んでいきたい。



家庭系ごみ有料化を前に



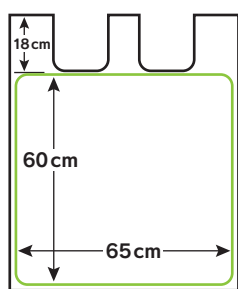
かわやなぎ まさひろ

川柳 雅裕

元気・羽島クラブ

問 家庭系ごみの有料化まで約100日。有料化後の不燃ごみの袋のサイズは「大(図のとおり)・「小」の2種類あり、この中に入るものが地区の集積場で回収され、入らないものは「粗大ごみ」として各自で直接搬入することになるが、ごみ袋のサイズは2種類に限られるのか。

答 45リットルの大サイズと、排出量が少ない場合も考慮し20リットルの小サイズの2種類とする。

有料化後の大サイズ
不燃ごみ袋(再現)

問 自分で持ち込めない「粗大ごみ」を業者に運んでもらう場合、市民の負担額は。

答 ごみの量や形状、許可業者ごとに料金設定が違うので業者に尋ねることになる。

問 搬入場所まで運べない方に代わり、善意で粗大ごみを運んであげるのは許されるか。

答 許可を受けていない方が代わりに運搬することは、行政として容認できない。

問 指定の袋に入らず例外とされる「傘」と同様に、杖のような約90センチの棒状のごみについて、例外品目として許されないか。

答 例外品目の追加は考えていない。

第3回(6月)定例会 議案の審議結果

◎…全会一致で可決 ○…賛成多数で可決 ×…賛成少数で否決

議案番号	件 名	審議結果
報 第 2 号	令和2年度羽島市一般会計繰越明許費繰越計算書及び事故繰越し繰越計算書の報告について	—
承 第 11 号	専決処分の報告並びにその承認について(専第12号 令和3年度羽島市一般会計補正予算(第5号))	◎
承 第 12 号	専決処分の報告並びにその承認について(専第13号 令和3年度羽島市一般会計補正予算(第6号))	◎
議 第 48 号	羽島市公平委員会委員の選任について	◎
議 第 49 号	羽島市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	○
議 第 50 号	羽島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	○
議 第 51 号	羽島市行政手続における押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について	◎
議 第 52 号	羽島市市民管理広場条例について	◎
議 第 53 号	羽島市手数料条例の一部を改正する条例について	○
議 第 54 号	羽島市立学校体育施設の開放に関する条例について	○
議 第 55 号	動産の取得について	◎
議 第 56 号	市道路線の変更について	◎
議 第 57 号	令和3年度羽島市一般会計補正予算(第7号)	◎
議 第 58 号	令和3年度羽島市病院事業会計補正予算(第1号)	◎
請 第 1 号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出に関する請願書	×

議案の賛否一覧

※賛否が分かれたもののみ掲載しています。

審議結果：◎…可決 ×…否決 賛否状況：○…賛成 ●…反対 議…議長のため採決に加わらない 欠…欠席 棄…棄権 除…除斥		審議結果	南谷清司	柴田喜朗	栗津明	毛利廣次	後藤國弘	原一郎	川柳雅裕	安井智子	野口佳宏	南谷佳寛	豊島保夫	堀隆和	藤川貴雄	山田紘治	花村紘隆	糟谷玲子	星野明	近藤伸二
議案番号	件 名																			
議第49号	羽島市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○
議第50号	羽島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○
議第53号	羽島市手数料条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○
議第54号	羽島市立学校体育施設の開放に関する条例について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○
請第1号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出に関する請願書	×	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	○	議	●	●

表 彰

全国市議会議長会と東海市議会議長会より5議員が表彰されました。

【正副議長4年表彰】

・山田 紘治 議員

【議員在籍10年表彰】

・南谷 佳寛 議員 ・豊島 保夫 議員
・堀 隆和 議員 ・藤川 貴雄 議員

例年8月に開催している「羽島市議会意見交換会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月の開催を見合わせます。

なお、11月にオンラインでの試行開催を計画していますので、改めてお知らせします。



発行：羽島市議会
〒501-6292 羽島市竹鼻町55 TEL (392) 1111 FAX (391) 1733 <https://www.city.hashima.lg.jp>
編集：広報広聴委員会